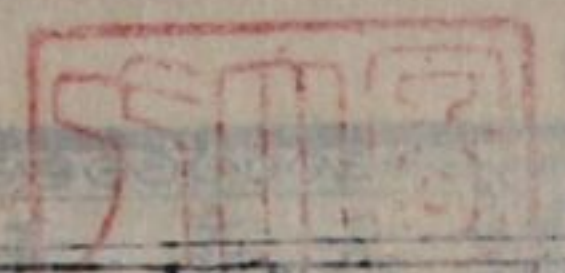




40.8.59
7308231



舟遊山景海山

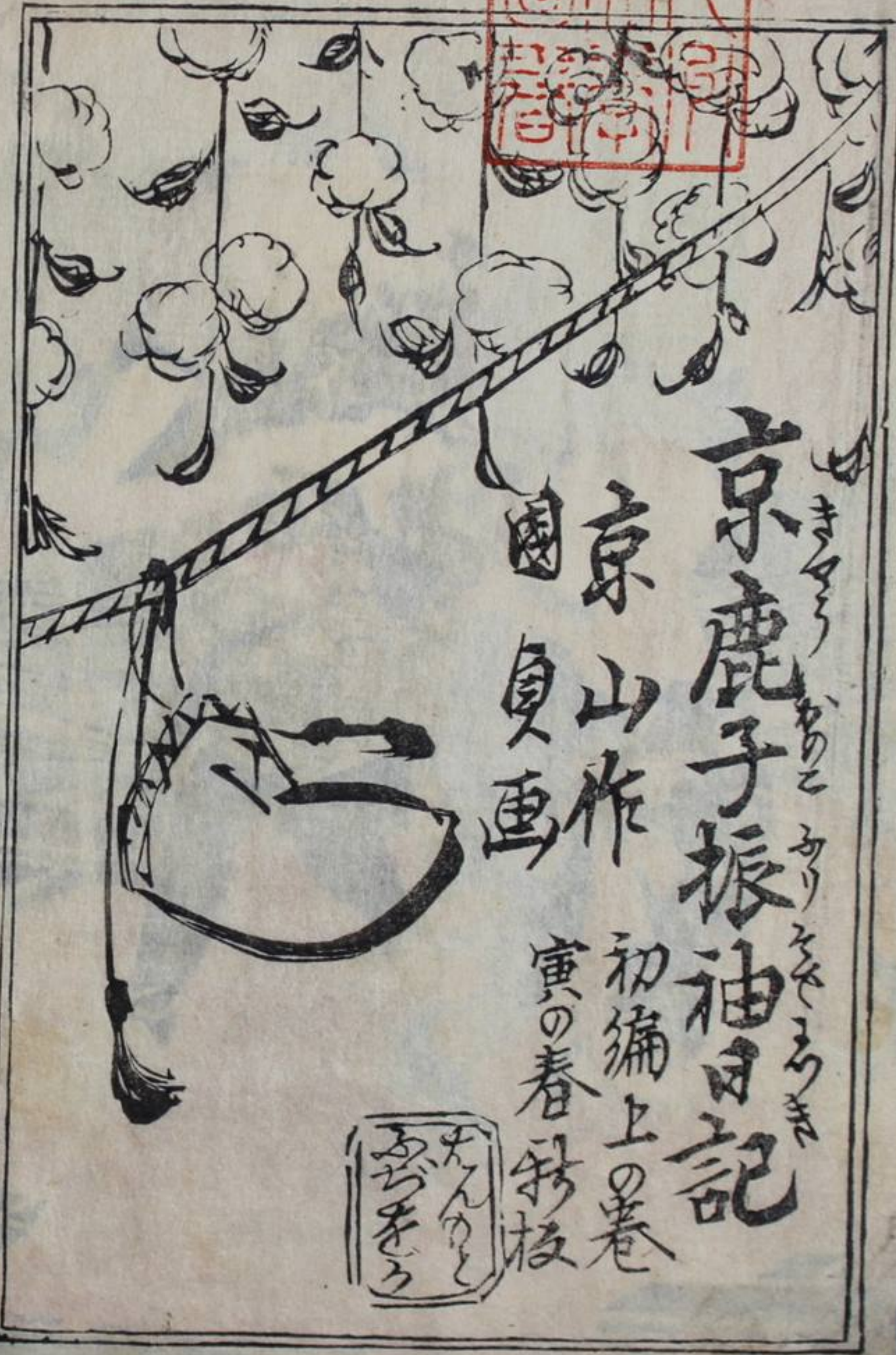
舟遊山景海山

舟遊山景海山

舟遊山景海山



40. 8. 26
ア306531



京鹿子振袖日記

京山作
貞画

初編上の巻
寅の春抄板



京麻子娘道成寺鐘圖



家業夢中
始終滅亡
正直實儀
搭別氣樂
右京傳翁
謹撰

天保十二年辛丑孟
春稿本同初冬梓成
天保十三壬寅年
春正月發販通商

○うごひ
これの京もれやらのにすむ作者
老の京麻子娘道成寺とすま
長安人のふくまのていれを
たひこく日馬川の寺にありを
わさるふかきつらなるとあり
あてのやをく入りあふたあ
みあつ小松東のそとをき
目まはるるをふけくたを
ここのもこれのやのさのそ
い作料の加縁の徳養とつけ玉の
ゆけふこれをもつてのゆけふ
あふまのゆきまのゆきまの
ふひやうじをきまのゆけの
うれまのそかひのゆけの
系ははるるの春抄板原堂ふよふ

山東菴京山





○花川 佐七郎
 ○白 比彦
 ○あんの 九

日高川

○使者
 本朝九郎
 綱五郎
 小系 娘 田五郎 阿村 阿偶

京子



関取

○真子の
 庄次去清の
 娘清姫

京子



仙女香 美々香 九段

元 旗屋五場

菊鏡

母

小糸

①ひすめ
 母とありし
 あつちかれど
 をたてたのか
 小糸さん
 さんあつち
 らあつち
 けり
 十六
 十七



京麻子

依七郎

京麻子
 前編上巻
 時代かまを
 ちざうとつち
 の茶や
 のあまの
 だんを
 かつ
 のあまの
 だんを
 かつ
 のあまの
 だんを
 かつ



あまご村の田五郎とて
村おあふせの小まののや
ふねとひくろかき
らやさんち

第一巻

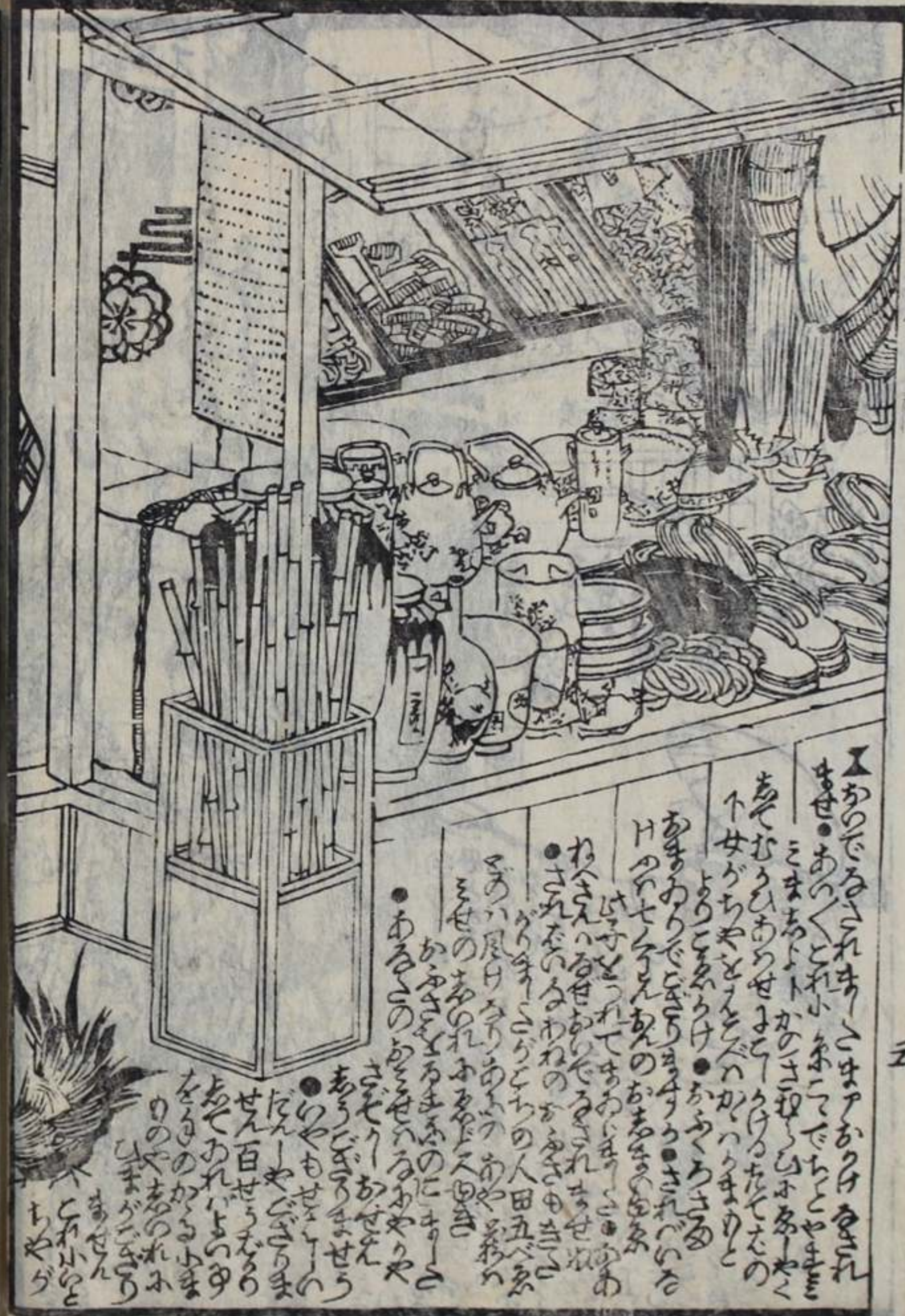
●あつれやませうみる
さんあせのさやあひで
るされませ

●あつれやませうみる
さんあせのさやあひで
るされませ

小作のあふ
おやあ



●小作のあふ
おやあ
あつれやませうみる
さんあせのさやあひで
るされませ



あまご村の田五郎

あつれやませうみる
さんあせのさやあひで
るされませ

あつれやませうみる
さんあせのさやあひで
るされませ



△二ノ鳥居
 此の鳥居は...
 鳥居の石は...
 鳥居の形は...
 鳥居の大きさは...
 鳥居の位置は...
 鳥居の歴史は...



① 花のま
 この花のまは...
 花のまの形は...
 花のまの大きさは...
 花のまの位置は...
 花のまの歴史は...

④ 二年...
 この二年は...
 二年の形は...
 二年の大きさは...
 二年の位置は...
 二年の歴史は...

⑤ 第五段
 この第五段は...
 第五段の形は...
 第五段の大きさは...
 第五段の位置は...
 第五段の歴史は...



京師下町

七

●のちのてをいへばなせぬもの
るやうせめてのちのてをいへばな
たうさむめんとていひていひ
のちのてのりけりていひていひ
ひらのちのてのりけりていひていひ
まがとを月ふていひ
とてかあるいひ
●ヤアあるいひ
●のちのてのり
●ふんのちのて



●それかーのちのてのりけりていひていひ
ふんのちのてのりけりていひていひ
たうさむめんとていひていひ
のちのてのりけりていひていひ
ひらのちのてのりけりていひていひ
まがとを月ふていひ
とてかあるいひ
●ヤアあるいひ
●のちのてのり
●ふんのちのて



●あふのちのてのりけりていひていひ
ふんのちのてのりけりていひていひ
たうさむめんとていひていひ
のちのてのりけりていひていひ
ひらのちのてのりけりていひていひ
まがとを月ふていひ
とてかあるいひ
●ヤアあるいひ
●のちのてのり
●ふんのちのて

本家江戸本町二百

徳利後代二百文

式亭三馬製



百江戸の名

大類代百文 中類代百文 小類代百文 徳利後代二百文

御願の 吾素香
茶押の 吾素香
たふ入百文 吾素香 五十三文
はあ五ト

別製 御多押の

別製 御多押の
たふ入百文 吾素香 五十三文
はあ五ト

御懐中 ぬはまぬの

御懐中 ぬはまぬの
果げの
代 五十文

Handwritten text in the top right margin, possibly a date or page number.

十

1841
 1842
 1843
 1844
 1845
 1846
 1847
 1848
 1849
 1850
 1851
 1852
 1853
 1854
 1855
 1856
 1857
 1858
 1859
 1860
 1861
 1862
 1863
 1864
 1865
 1866
 1867
 1868
 1869
 1870
 1871
 1872
 1873
 1874
 1875
 1876
 1877
 1878
 1879
 1880
 1881
 1882
 1883
 1884
 1885
 1886
 1887
 1888
 1889
 1890
 1891
 1892
 1893
 1894
 1895
 1896
 1897
 1898
 1899
 1900

本家正印本館上四

Handwritten text below the main title, possibly a date or location.

大正三三三三三三









女房 大女
 ちりもわんのんり
 不とくとさきおき
 さんとのわい小ゆとさき
 大女ちちのりゆり
 つまがらるるの用ト
 ちのちとたのさうあ
 ききことつさきさ
 入りるんとあゆみ
 ぬくばあんとあゆ
 くのよせおのこ
 おきんどうさん
 小糸のせんか
 さんのはさき
 まこれがあま
 けさうまらう
 のひくんとさ
 りくんとさ
 あまのさき
 けさうまらう
 けさうまらう
 せんまのさ
 うまのさ



第十段
 小糸
 それのさき
 のさき
 けさうまらう
 せんまのさ
 だんご
 小糸
 のさき
 らららら
 らららら
 らららら

高麻子

十



④ 月夜
 ありかたりの村の
 こぼれが小の
 さんくたまるい
 いやとあれもい
 うすうを

ニッパの
 ありかたりの村の
 こぼれが小の
 さんくたまるい
 いやとあれもい
 うすうを



⑤ 月夜
 ありかたりの村の
 こぼれが小の
 さんくたまるい
 いやとあれもい
 うすうを

月夜

月夜

京山作 國貞画



寐小便の大奇薬

一包代錢三百銅

此市茶いらいほども年久後病癒よそも大人小兒男女
 此茶の下の包にて治るる奇とやいん妙とやいん是あま
 徳人をどに用る小一人も治せどといふそのあけ後、徳人
 のさるめ不減をせよむろめ浦内の男女孫小便をてん
 一むむのをもとく世中此茶といふがむむがむむりり
 なくこの世は良秀叔の心とせむ月ひてそ病苦をたむる

本家調合所

書物屋

北林堂

西宮

弘兵衛

江戸中橋廣小路町

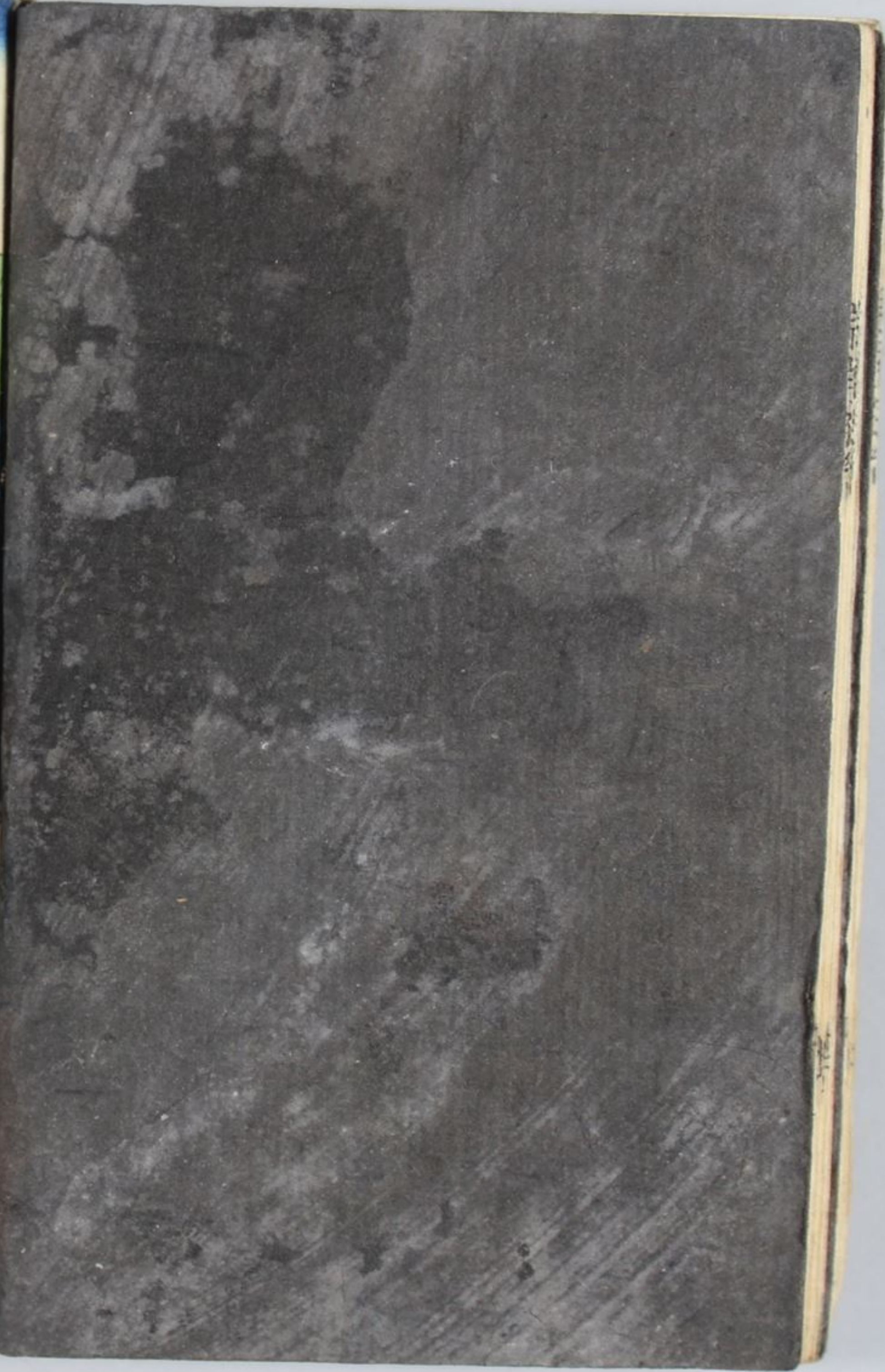
本草綱目

書錄 山林堂 所 弘治 齋

中 德 齋 小 齋 也

Handwritten text in a cursive script, likely a recipe or medical note, enclosed in a rectangular border. The text is dense and difficult to decipher due to the cursive style.

蘇小野の大音藥 一回分三回



河の三つあぢのむすめが...
 ① 甘んじ...
 ② 甘んじ...
 ③ 甘んじ...
 ④ 甘んじ...

第士二股
 甘んじ...
 甘んじ...

大いそがし...
 ① 甘んじ...
 ② 甘んじ...
 ③ 甘んじ...
 ④ 甘んじ...

三浦子爵
 甘んじ...
 甘んじ...



① 小舟
 ② 小舟
 ③ 小舟
 ④ 小舟
 ⑤ 小舟
 ⑥ 小舟
 ⑦ 小舟
 ⑧ 小舟
 ⑨ 小舟
 ⑩ 小舟
 ⑪ 小舟
 ⑫ 小舟
 ⑬ 小舟
 ⑭ 小舟
 ⑮ 小舟
 ⑯ 小舟
 ⑰ 小舟
 ⑱ 小舟
 ⑲ 小舟
 ⑳ 小舟
 ㉑ 小舟
 ㉒ 小舟
 ㉓ 小舟
 ㉔ 小舟
 ㉕ 小舟
 ㉖ 小舟
 ㉗ 小舟
 ㉘ 小舟
 ㉙ 小舟
 ㉚ 小舟
 ㉛ 小舟
 ㉜ 小舟
 ㉝ 小舟
 ㉞ 小舟
 ㉟ 小舟
 ㊱ 小舟
 ㊲ 小舟
 ㊳ 小舟
 ㊴ 小舟
 ㊵ 小舟
 ㊶ 小舟
 ㊷ 小舟
 ㊸ 小舟
 ㊹ 小舟
 ㊺ 小舟
 ㊻ 小舟
 ㊼ 小舟
 ㊽ 小舟
 ㊾ 小舟
 ㊿ 小舟



① 小舟
 ② 小舟
 ③ 小舟
 ④ 小舟
 ⑤ 小舟
 ⑥ 小舟
 ⑦ 小舟
 ⑧ 小舟
 ⑨ 小舟
 ⑩ 小舟
 ⑪ 小舟
 ⑫ 小舟
 ⑬ 小舟
 ⑭ 小舟
 ⑮ 小舟
 ⑯ 小舟
 ⑰ 小舟
 ⑱ 小舟
 ⑲ 小舟
 ⑳ 小舟
 ㉑ 小舟
 ㉒ 小舟
 ㉓ 小舟
 ㉔ 小舟
 ㉕ 小舟
 ㉖ 小舟
 ㉗ 小舟
 ㉘ 小舟
 ㉙ 小舟
 ㉚ 小舟
 ㉛ 小舟
 ㉜ 小舟
 ㉝ 小舟
 ㉞ 小舟
 ㉟ 小舟
 ㊱ 小舟
 ㊲ 小舟
 ㊳ 小舟
 ㊴ 小舟
 ㊵ 小舟
 ㊶ 小舟
 ㊷ 小舟
 ㊸ 小舟
 ㊹ 小舟
 ㊺ 小舟
 ㊻ 小舟
 ㊼ 小舟
 ㊽ 小舟
 ㊾ 小舟
 ㊿ 小舟

第十二段



四子卷中
香中
本際
五河
目餘
亭堂
難測
氣以
大羽
外

皇朝詩林卷之三十一

香艸
對
真
畫

皇朝詩林卷之三十一
香中
本際
五河
目餘
亭堂
難測
氣以
大羽
外

皇朝詩林卷之三十一
香中
本際
五河
目餘
亭堂
難測
氣以
大羽
外

皇朝詩林卷之三十一
香中
本際
五河
目餘
亭堂
難測
氣以
大羽
外

皇朝詩林卷之三十一
香中
本際
五河
目餘
亭堂
難測
氣以
大羽
外

皇朝詩林卷之三十一
香中
本際
五河
目餘
亭堂
難測
氣以
大羽
外

皇朝詩林卷之三十一
香中
本際
五河
目餘
亭堂
難測
氣以
大羽
外

国文
24L
43

文
圖書
年度

1